

最優秀賞【小学校中学年（三・四年生）の部】

ゆめに向かってがんばるキホへ

（課題図書：タイムカプセル☆ミラクル）【手紙作品】

洞峰学園つくば市立小野川小学校 四年 辻本 珠詩

「十年後のわたしは小学校の先生を目指していますか。そして、だれかに勉強を上手に教えられていますか。十才のわたしのしよ来のゆめは、小学校の先生になることです。だから今、学校のじゆ業をがんばっています。未来のわたしが、いつか先生になれたらうれしいです。十年後もがんばってください。」

これは、わたしがハタチの自分に書いた手紙だよ。キホたちを見ていて、わたしもタイムカプセルに入れる手紙を書いてみたよ。ハタチになっても変わらず芸能人になりたいひとみや、野球選手を目指すアユムみたいに、自分のゆめに向かってまっすぐ進んでいけたらカッコいいなって思ったよ。

キホとシュンはゆめになやんでいたけど、タイムカプセルのミラクルのおかげで、ゆめをかん単にあきらめたらいけないって気づくことができたね。わたしには、タイムカプセルが起こしたミラクルが、次から次へと新しいミラクルにつながっているような気がしたよ。

ミラクルの始まりは、キホとシュンが同じタイムカプセルの手紙を取りもどそうとしたと

ころだったね。そこで二人がいっしょにタイムワープして、ハタチのみんなと再会して・・・これだけでもすごいミラクルだけど、その後、キホはシュンに自分の想いを伝えることができたよね。もともと勇気を出せないタイプだったのに、告白するなんて本当にびっくりしたよ。大好きなサッカーをあきらめようとしているシュンを見て、シュンへの想いを捨ててしまえばいいなって感じたんだね。ひとみやアユムたちの生き生きとしたすがたを見ながら、シュンにサッカーを続けてほしいこと、サッカーをしているシュンが大好きなことを思い出したんだね。

そのキホの大告白のおかげで、弱気になっていたシュンも、サッカーを続けたい気持ちを取りもどすことができたよね。そしてキホも、シュンと両想いになりたいゆめだけじゃなくて、かんごしになりたい自分に気づくことができて・・・そうやって、ミラクルがどんどんつながっていくのを感じたよ。タイムカプセルには、未来へのゆめや希望といっしょに、みんなを前向きにさせる大きなパワーがつまっているかもしれないね。

わたしは今、小学校の先生になることがゆめだけど、もしかしたらこれから先、ちがう未来を見つかるかもしれない。まだ「ゆめのと中のすがた」だから、たくさんやんだり、考えが変わったりするかもしれない。でも、その時にまた、自分のやりたいことに向かって一生けん命がんばることが大事なんだよね。

(もしそこで、ゆめを捨てようとしたら、タイムカプセルにおこられそう。)

いつか大人になった時、自分に自信をもって、大好きなことに向かっていられたらいいなって、今思う

んだ。ゆめに向かって、キホといっしょにがんばりたいな。